

土壌物理性診断試料（サンプル）採取方法

必要なもの

- ア. コア（試料円筒）：100ml・50ml
- イ. コア用蓋（上下2個で1セット）
- ウ. 採土補助機
- エ. プラスチックハンマー
- オ. スコップ・シャベル
- カ. メジャー
- キ. 包丁
- ク. ハサミ
- ケ. 雑巾
- コ. ビニールテープ
- サ. 油性マジック
- シ. 記録用紙・筆記用具



採取方法

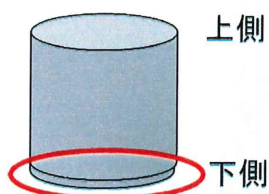
①採取したい試料（サンプル）の土まで、スコップで穴を掘る。



②穴の深さを計測し、その土がどの土層（作土層：A、母材層：C）であるかも記録する。



③試料円筒（コア）の上下に注意して、採土補助機につける。



※面取りのある方が下側

④採取したい場所に垂直に差し込み、プラスチックハンマーで打ち込む。



裏面へ➡

表面の続き →

試料の抜取・整形

⑤コア内の土に触れないようにコアの外側の土を包丁で切るようにして、コアの周りの土を取り除く。



⑥コアから土が抜けないう包丁で下部を支えながら、コアを取り出す。



⑦包丁で、コアの端から少し盛り上がるように土を削る。

※採取した土に穴やひび割れがないかを確認する。（穴やひび割れがあると正確な値が計測できない可能性があります。）



⑧根など繊維質のものについては、抜かずにハサミで切っておく。



試料の保管

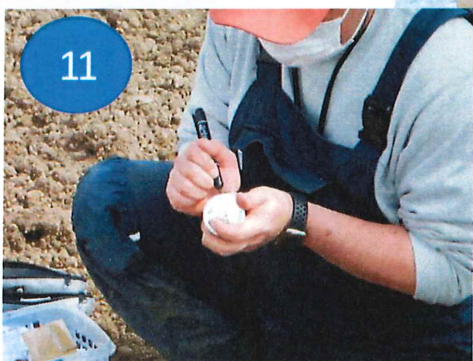
⑨両側に蓋をして、コアの外側の土を雑巾で拭く。



⑩蓋とコアをビニールテープで密閉し、土が漏れたり、水が入らないようにする。



⑪ビニールテープに採取場所、土層などを記入し、試料の判別が出来るようにしておく。



- ・同様にして、50ml、100mlの円筒試料（コア）を必要数採取する。
- ・試料を長期保管する必要がある場合は、温度・湿度が一定となる場所、設備に保管する。